

会 議 録

会議の名称		第9回（仮称）中根・金田台地区小学校開校準備委員会		
開催日時		令和7年6月23日（月） 開会 16：30 閉会 18：40		
開催場所		桜総合体育館 会議室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	渡辺 オリエ、海老原 仁美、大崎 純一、三石 祐季、 竹島 敬介、岡部 智恵、大畠 ひろ美、荒巻 翔(代理)、 飯塚 ちはる、中里 香織、雨宮 怜、関 美智子、 山田 智久、君和田 裕之、飯塚 真由美、中原 卓治		
	事務局	学務課課長 森田 信道、学務課課長補佐 望月 ひろみ 学務課係長 大友 博幸、学務課主任 篠原 周平		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		1 体操服について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 体操服について （１）体操服のデザインについて （２）体操服のアンケートについて 3 その他 （１）保護者組織について （２）通学路について 4 閉 会			

＜審議内容＞

1 開会

事務局：ただ今から第9回（仮称）中根金田台地区小学校開校準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、御発言の際は、マイクを御使用くださいますようお願いいたします。

それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

委員長：それでは、会議の進行をさせていただきます。

本日は傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：1名おります。

委員長：承知いたしました。

それでは議事に入りたいと思います。

本日の議事は体操服について、デザインとアンケートになります。また、その他として保護者組織と通学路についてもございます。

終了時間が遅くなると保護者さんにも負担がかかると思いますので、ある程度時間を決めて協議を進行していきたいと思います。

体操服のデザイン、アンケートについては各30分、保護者組織、通学路については各20分で進行する予定です。

終了時間は18時10分を目標として会議を進めていきます。

まず、配布している資料について説明をいただきたいと思います。

事務局：事務局です。

まず資料1は今後の体操服選定のスケジュール案です。

今回第9回委員会を実施しまして、次に学校でのサンプル展示を実施し、同時にアンケートを行いまして、8月上旬を目途に第10回委員会を開催して、アンケート結果を基に体操服を選定していただきます。展示・アンケート期間につきましては後ほどご検討ください。

続きまして資料2は児童用のアンケート用紙の案と保護者用のアンケートフォームの案です。

児童はアンケート用紙を学校で配布、回収してアンケートを実施する予定です。保護者はスクリレでアンケートについて文書を送付して、グーグルフォームから回答いただく予定です。また保護者用のフォームの方には本日ご提示いただく展示パネルの画像を載せる想定です。

アンケート案の内容等につきましては後ほど協議していただければと思います。

続きまして、参考資料1につきましては本日の議事のその他にて通学路についてお話いたしますので後ほどご説明いたします。

事務局からは以上です。

委員長：ありがとうございます。

それではまず議題の体操服のデザインについて進めてまいります。

メーカー様から御用意いただいたサンプルについてご説明をお願いいたします。

トンボ：それでは説明させていただきます。

本日、ご用意させていただきました3タイプのもので前回のお話で決定したものになりますが、まずこちらが1つ目、トンボオリジナルの価格が抑えられた

体操服、こちらが2つ目のピステタイプの体操服で、こちらは胸のところにさくらエレメンタリースクールの「SAKURA E. S」が描かれているオリジナルデザインとなっております。3つ目がヨネックスのもので、ストライプ生地となっております。こちらの3タイプを御用意しております。

T シャツについてですが、1つ目と2つ目が色違いですが同じものになっております。前回お話したように白と紺で選べるようになっております。3つ目はヨネックスの刺繍が入ったものになっておりまして、こちら今回は紺を持ってきましたおりますが白もございます。

ハーフパンツについては連動した生地となっております。デザインとしては以上となります。

委員長：ありがとうございます。

それでは今御説明いただいたサンプルについて委員の皆様から御意見があればお願いいたします。

サンプルを近くに行ってみてもよろしいですか。

トンボ：はい。ぜひお願いします。

委員長：それでは少しお時間を取って見てみましょう。委員の皆様、どうぞご覧になってみてください。

今、直接ご覧になって、メーカーさんとお話しされていましたがこの場で共有したほうがいいなということ等ありましたら、お願いいたします。

委員：2つ目について、半ズボンもピステの素材となっているということですよ。

トンボ：そうです。

委員：そうすると保温がすごい優れていて、逆に蒸れてしまうことはないんですか。

トンボ：そうですね。他のハーフパンツと比べますと多少蒸れ感はややあります。

委員：半ズボンは特に夏に着るんですよね。

そうすると通気性が良くて素材が薄いほうが良いのかなと思うんですけど、素材を変えることはできるんですか。

トンボ：別のものに変更することは可能です。

委員：とてもいいと思うんですけどハーフパンツだけが気になっていて、長ズボンの素材の話を聞いていると冬はとてもいいと思うんですけど、その素材を夏に着るとどうなのかなと思っていて。

委員：ピステの役割、選定理由としてはデザイン性も良いですよというのがあったかと思うんですね。

長袖の上とかはとてもデザイン性があると思うんですが、半袖にデザインがないのであれば、蒸れるだけの半ズボンになってしまうので、半ズボンだけ1つ目のものにすれば価格帯も下がるし、というのがあと思います。アンケートで取るでもいいんですが、せつかく3つあるならどうしていくのがいいのかなという観点で意見を出させてもらいました。

委員：ピステの蒸れについて、ピタッとくっつくような感覚もあるんでしょうか。

トンボ：それは、多少はあります。

委員：そうすると、ほかのトンボさんの方がいいのかなってなりますけど、確かピステの長ズボンって薄いので下に他の半ズボンを履くとごわごわとしてしまうみたいな話がありましたよね。トンボさんとかヨネックスさんのもので、もっと薄い生地の手パンツはあるんですか。

トンボ：今おっしゃられた通り、ピステの手パンツは多少は蒸れてしまうんですが、夏用手パンツというものもあるんです。蒸れないように本当に薄い生地でピステよりは厚手になるんですけど、それだったらだいぶ価格も下がります。

委員：ありがとうございます。それがあつたつたらぜひそちらも見て検討してみたいなと思います。

トンボ：そうしたら、2つ目の手パンツは夏用の手パンツに切り替えますかね。価格も安く抑えられますので。

委員：それは素材がピステではないんですよね。あと1つ目と3つ目の手パンツって夏用ではないんですか。

トンボ：手パンツなので夏用だつて言われればそれまでなんですけど、もっと薄い素材のものがあります。

委員：そうなるとこの1つ目と3つ目は夏用にしないでいいのかなと思ったところで、まだ私の場合だと子どもが1年生で冬の過ごし方がわかっていないんですけど、ハーフパンツ履くのは夏だよなと思うと3つとも夏用にいいんじゃないかな、価格も抑えられるし、とも思ったんですけど。

そのあたりは他の委員さんの意見を伺えたらと思います。

トンボ：ヨネックス社の方はその生地がありません。トンボのものになりますので。

委員：4年生ですけど、結構暑がりです。冬でも長ズボンを履かなかったりするのと、重ね着を嫌がるので体育は半ズボンになる。そこをどう考えるのかっていうのもあって、夏を優先して薄い生地でいくと夏は涼しくていいけど冬はどうなのかなっていうか、課題というか。

トンボ：冬に夏用のハーフパンツ一枚だとものすごい寒いと思います。

委員：結構体感温度は違うものですか。

トンボ：ハーフパンツの時点で寒いとは思いますがやっぱり違いますね。大人と子どもの感じる温度差もあるとは思いますが。あとちょっと大げさかもしれないんですけど、夏用の薄さはTシャツ素材のハーフパンツぐらいのイメージで結構薄いんです。

委員：耐久性を考えると結構違いますか。

トンボ：耐久性でいったらやっぱり厚いもののほうが強いです。

委員：九重小学校について、私の認識が違っていたら申し訳ないんですけど、インナーを着てはダメっていう話で、半袖の上にジャージっていう認識なんですけど他の学校さんはインナーを着ても大丈夫なのかを聞きたいです。

委員長：栗原小学校では禁止はしていません。

長袖のインナーの上に半袖を着るのは構わないし、ハーフパンツの下にスパッツを履いてくるお子さんもいます。怪我をして傷を見せたくないお子さんも中にはいると思うので、特に禁止はしていません。

ただ怪我をした際にはハーフパンツの上に長ズボンの方が処置はしやすいと思います。

委員：それであれば新しい学校を作る委員会なので下に何を着てもいいっていうことであれば夏用のハーフパンツでも各家庭が下に何を着るのか、上に重ね着するのかは任せられるのかなと思っていて、九重小の下に着てはいけないっていうのが全国的な話なのか、みんなそうなのかっていうのがわからなかったもので伺ったんですけど。

下に何を着ても問題ないってことであれば、夏用のハーフパンツにしなければならなかったと思います。

委員：実際に見てみて思ったことがあって、ハーフパンツがヨネックスのよりトンボさんの方が、生地が薄いのかなって感じたんですが、ヨネックスのものでピステのような色合いものはありますか。

結構高学年の女の子なんかはお尻周りを気にするかなっていうのがあって、そう考えるとちょっと厚みがあった方が安心な気がして、できれば薄い方が上にピステを着せた時にそんなに変でなければ、そういう組み合わせでもいいのかなと思いました。

実際に着せてみないとわからないんですけど。ピステの夏用って採用されている学校はあるんですか。

トンボ：採用されているのは高校が多いです。

委員長：仮の話ですけど、大体の家庭は1サイズ、2サイズ上のものを買うとすると、体育では引っ掛かったり、挟まったりということを避けるためにサイズがぴったりのものを買った方がいいんですか。

御意見をいただいても良いですか。

委員：体育の授業を前提とするのであれば、サイズが違うとその子の動きが変わってしまうのである程度その子に合ったサイズが望ましいです。

委員長：女の子の場合にはそういう選択肢もあったほうが良いのかなってことで御検討いただければと思いますがと思います。

やっぱりその薄さっていうと先ほども御意見がありました但体の線とか気にするお子さんがないように、ちょっとその辺も検討が必要なのかなと思います。そろそろお時間もきているので、このサンプルでアンケートをかけてもよいかどうか決を採りたいのですが、その他に意見として言っておきたいことがあればお願いいたします。

委員：さっきの薄さのところでいくと、今までの学校で使っていたのが夏用ということでなければ夏用でなくともいいのかなと個人的に思ったので、2つ目だけ夏用にするよりかは3つとも夏用でないものでいったほうがいいと思ったのでその辺りを皆さんに意見を伺えたらなと思ったのが1つと、あと価格帯なんですけれど、1つ目と3つ目が同じくらいで、ピステが高いというイメージ

だったんですけれども、総額だとピステが 1,000 円高い程度。価格差ってこのくらいのものでしたっけというのがあります。

委員：1つ目と2つ目がなくて、ヨネックスが安いっていうイメージだったんですけど、トンボさんが頑張って価格を抑えてくれたのでこうなったかなと思っていました。

トンボ：実は前回の会議が終わった後、3点に絞られたので再見積もりを出してもらったので、以前は10数点で見積もりを出してもらっていて、3点に絞られたので抑えられるところは抑えてくださいとしたのでこうなったのかなと思います。

委員：トンボのものは高品質ということだったので、品質はそのままに価格を抑えられる、3つとも比較的同じような価格帯になったということでよろしいですか。

トンボ：ちなみに合計の価格として120から150のサイズとして、4点セット合計で1つ目が税込みで13,090円です。2つ目が14,080円。3つ目のヨネックスが13,970円です。

委員：ちなみに今話していたピステの半ズボンが1つ目のトンボさんのものになったらいよいよ価格差はなくなりますね。

トンボ：そうならいいですね。

委員：それはそれでいいのかもしれませんが。素材にフォーカスしてアンケート

ができると考えれば、あとはピステの半ズボンはどうするかだけですかね。

委員：半ズボンの長さって、あれでいいんですか。

栗原小学校だとあと5センチくらい短かったかなという印象なんですけど。

あんまりハーフパンツが長すぎると膝の所までごわごわして嫌かなと思いました。

どうですか、長さはこれでいいかっていうところは。

委員：栗原小のはちょっと短いなと思っていて、女子だと足を広げないで、親は気になってしまうんです。

個人的にはある程度サイズはそこまで変わらないだろうから、これくらい長い方がいいのかなと思います。

委員長：九重小と栄小の保護者さんはどうですか。

委員：栄小はもうちょっと長いかなと思っていて、男の子でもトラックスとかが見えてしまったりとかするので、個人的には長いほうが良いのかなと思います。

委員：九重は膝丈ぐらいですかね。

委員：各学校の事情が確認できたので、半ズボンの長さはこれでいいのかなと思いました。今度校章、校名を入れるってなったときに値段が上がるっていうお話を伺ったんですけれども、T シャツに入れるとプラスいくらっていうのは統一なんですか。

トンボ：T シャツについては今示している値段は校章がついたものです。長袖の方は入れる想定なしで出しています。

委員：今ここにある T シャツは校名か校章が入る前提で値段が出ているということですか。

トンボ：そういうことです。

委員長：ハーフパンツが長すぎると先ほどあったようにもぞもぞしてしまうということがあるので丈の長さが 2 つ目くらいの長さが丁度いいのか、もしくは 1 つ目のものがあるのかなと思うんですが、どうですか皆さん。

長さを統一してもらった方が見る方としては理解しやすいのかなと思ったんですけど。3 つとも 140 サイズの長さということですか。

トンボ：そうです。

あとは長さを揃えるのであれば、ヨネックスのものがサイズをいじれないので、ヨネックスの長さに合わせることになります。

あと、実際は学校に入ります、新しいのを買いますってなった時には自分のサイズより 2 つ、3 つくらい大きいのを買われると思うんですが、他の地区を見てもそういう流れにはなっていますね。

委員：丈の長さで皆さんが悩まれているのであれば、3 つとも 5 分丈にして、そうすると見た目的には統一されるので、2 つ目のサイズと 3 つ目のサイズがほぼ同じだと思うので、1 つ目のサイズもそれに合わせたらいいのかなと思ったんですけど。

委員長：トンボさんの方でその対応は可能ですか。

トンボ：最終的な納品の際には可能ですが、アンケートの展示には多分時間が間に合わなくなってしまうので、1つ目だけは1つ上の150サイズで御用意して、そうすると丈は同じくらいになりますので。

1から作ると型紙からおこしますので1か月ほどかかりますので、今日からだと間に合わないと思います。

展示の時にはそういうかたちにさせていただきたいです。

委員長：では3点で展示の際にはワンサイズ上のものを用意するという事で、次にアンケートについて資料2に児童と保護者のが。はい、どうぞ。

事務局：事務局です。今のハーフパンツの所で皆様の意思が統一されているかという確認ですが、真ん中のピステのハーフパンツについてはピステではなくてトンボさんの生地 of ハーフパンツにするということで皆様ご納得ということでよろしいですか。

その中で1点確認したいのが色を同じにするかということで、1つ目のトンボさんのは青みがかっていて、2つ目のは黒いハーフパンツになってますが、そこだけ確認したいです。

委員：その話題については話が決まり切っていなかったと思います。

事務局：そうしたら改めて確認したいのが、2つ目のハーフパンツについてはトンボさんが御用意いただいたピステ生地 of ハーフパンツにするか、トンボさんの1つ目の生地と同じにするか。あと1つ目の生地と同じにした場合に、色は1つ目と同じにするのか、2つ目の元々の色にするのかを確認できればと思

います。

委員長：こちらは挙手でいいですか。皆さんもう決まっていますか。それでは2つ目のハーフパンツの生地はピステでいくという方、1つ目の生地に変更するほうが良いという方に賛成の方。そうすると7対6となりましたが。

委員：今、意見が割れているのってピステだと蒸れてしまうとか詳細な情報を知っているからだと思うんですが、メリット、デメリットについて展示とかアンケートの説明に書けるんですか。

写真だけだと分からない情報を書けるのであれば思い切ってアンケートにかけて選んでもらうのもいいのかなと思うので、それってどうなのかというのを伺いたいんですが。

少し論点ずれていたら申し訳ないんですが。

事務局：展示の時のパネルや、アンケートの画像の中に入れるのは可能ですが、事務局としてあまりデメリットを書き連ねるのはと思うので、すべて同じ文量でこういうものです。風を通さないので少し蒸れるかもしれませんといのは少し、そのくらいであれば説明というところで入れられるかなと思います。

委員長：展示されているものに説明がついているんですか。見に来なかった保護者については伝わるんですか。

事務局：電子のアンケートでもわかるように画像は載せる予定です。

委員長：それであれば。

委員：ピステでそのままっていう意見だったんですけど、特徴としてピステはこういうものですよというのを認識したうえで選んでもらえればと思ったんです。実際、高校で選ばれているのを聞いて、高校生は部活で汗をよくかいていると思うんですけど、蒸れるっていう意見はどれくらい上がってきているものですか。ピステから変更したいとか、そうでもないとか。

トンボ：全国でみると蒸れるといった意見も出ている中で、茨城県では十数校で採用されているんですけども、県内では今のところそういった声は出ておりません。

委員：ありがとうございます。

委員：蒸れるっていうお話なんですけど、8月くらいだったら何を着ても蒸れると思うんですけど、どうでしょうか。

確かに7月、8月くらいだと蒸れるけども、そこに大きな差はないと思うのでピステのままでいいんじゃないかなと思います。

トンボ：製造元があまり言うことではないと思うんですが結局、夏は何着ても暑いし、冬は何着ても寒いと思うんです。

ただあまりデメリットとしてパネルには書きたくないなというのがありますので、生地の特徴として、蒸れるとは書けませんが風を通しにくくて体がすぐ温まるという売りを書かせていただいて、そういう形でいったらどうかなと思います。

委員長：よろしいですか。

せっかく御用意いただいたピステの生地であればセットとしてそれをアンケー

トにいれるのも1つの手なのかなと考えてはいるんですが、皆様の総意として決めたいと思いますので、悩ましいんですけど、改めて、挙手で決めたいと思います。ピステのハーフパンツをそのままがいいという方。

ピステのハーフパンツをトンボのに変更するという方。

ということで、ピステのままでアンケートにかけるという方向でよろしいですか。

はい、ありがとうございました。

それでは先に進めてもよろしいでしょうか。

では資料2の児童用、保護者用のアンケートについて、事務局案に、例えば追加したい質問項目や削った方がよい質問項目、もしくは追加したい文言等があれば御意見を頂戴したいと思います。

委員：金額は写真と一緒に載りますか。

事務局：予定では展示でも、電子フォームでも説明文のところに載ります。

委員：わかりました。

事務局：一応確認しておきたいんですけど、載せる金額は合計のものか、合計と4点それぞれのものを両方載せるか、どちらにいたしましょうか。

委員：両方のほうがいいと思います。

事務局：両方ということで承知しました。

委員長：子どもたちの方は大きく変更はなくてもいいと思いますので、事務局

案の方で出していただいてよろしいでしょうか。では保護者の方で何かあればお願いいたします。

委員：校章について先ほどは長袖には入れないような話をお聞きしたのですが、この案ではジャージにも入れる選択肢がありますがここは大丈夫なんでしょうか。価格を入れた場合にしておくのかということも含めて。

トンボ：アンケートの結果で入れるかもということで入れたもので、価格も御準備いたします。

委員：地域の選択はなんのためにあるのでしょうか。

事務局：こちらにつきましてはさくら小学校の学区の方なのかそれ以外の方なのかというのがわかるよう設問を用意しております。ただお子様については回答が難しいこともありますので記載はしておりません。別になくてもいいんじゃないかということであれば削除することも可能です。

委員：個人的にはなくてもいいのかなと思ったので、処理の関係で便利であればあってもいいと思うんですけど。

委員：私は逆で、あった方がいいという意見です。できれば子どもも入れた方が実際通う子どもがどういうものを選択しているかを分かった方がいいと思うんですがどうでしょうか。

委員長：新設校に行かないお子さんもいらっしゃる中で、答えなくでもいいっていう選択肢もありますか。

配られるけど、行く気がないから答えないという選択肢もあるのかなと思ったんですけど。

事務局：できなくはないですけど、集計する時に行く子が出して、行かない子が出していないんだなっていう判別は難しくなると思います。

委員：前の開校準備委員会でのアンケートでは、確か子どもたちも地区を選択したような記憶があるんですが。

事務局：子どもの方はしていなかったと思います。

委員：その際に子どもも地区ごとにとっておけばよかったということはありませんでしたか。

事務局：そうですね。こちらも集計して子どもの地区がわかったらなということもなかったのも、みどりの南の時には子どものお住いの地域がわからなかったから困ったということはないです。

委員：議論として、新設校に行く子だけアンケートをとってもいいのかなと思ったんですけど、全体的に今の世代の子どもたちがどんな好みなのかっていうところで、アンケートを取ることに限っては全部で取りましょうというところに落ち着いた記憶もあります。

記憶では子どもも地区ごとにとっていたと記憶してましたがそれは保護者のみだったんですかね。

あと、展示方法についてはこれから議論するんですでしたか。

事務局：これから決めた期間に各校同時に展示して、準備する日にちは決まっていなくても、同時に展示してアンケート期間も同じにする想定ではございます。

ですので、時期についてはこれからお話してもらえればと思います。

委員：この資料１の７月８日から１８日の間に３校とも同時実施するのか、順々に実施するのかという点。

事務局：３校同時に、同じ期間に実施いたします。

委員：九重小学校の事情にはなるんですが、駐車場が保護者の方も止めづらい状況なので、この桜総合体育館の会議室をお借りして、ここでも展示していますとするのは可能でしょうか。

事務局：この会議室を１、２週間借り続けるというのは難しく、体育館の玄関、メインホールに展示というのも、そこを借りるのもですが、展示しているものの管理についても難しいので難しいのかなと思います。

委員：わかりました。

委員：３校の面談期間ってばらばらなんですか。

委員長：そうですね。

委員：ちょっと話が戻ってしまって申し訳ないんですが、子どもにアンケートを取る、取らないという集計の件で、事務局さんの御手間になってしまっ

んですけども、学年とか名前を書くので行く子、行かない子がわかるので、全体と行く子で集計するのもできるかなと思ったんです。

行く子の意見はどういう傾向かなというのを把握できればと思うので、取るときに一つのデータとしてあったらなという意見です。

事務局：実態として3校を合わせると1,000人近い数になりますので、なかなか難しいなというのはあるんですが、最終的に、例えば1番と2番で競りましてとなって、内訳の確認が必要となれば頑張りますとなるんですけども、最初からやりますというのは避けたいなと思います。

委員：全然大丈夫です。

委員：アンケートを実施するにあたってどういう結果になったら我々は決断を下すことになるんですか。

基準みたいなものはとりあえず取ってから考えるということによろしいんですか。子どもと大人で1位が違ったらどっちを採るのかとかは、結果を見てみてかなという形ですか。

今までの選定とかではそういう基準みたいのはありましたか。

委員長：みどりの南小学校の時には今、おっしゃったようなことはありましたよね。

保護者の御意見ももちろん見るんですけど、子どもたちの考えを優先しようということで、なにで意見が分かれたか覚えてないんですけど、そんなことがあったかなという記憶があります。

事務局：体操服ではなく制服だったかと思うんですが、何を基準に決まったか

というところではわかりません。

今回については競った際には、お名前からお住いの地域を確認して新設校へ行く子の意見を出したいとは考えております。

委員：ありがとうございます。

そういう前提があれば、行く子がとかで見てもらえばと思います。

委員長：結果を集計していただいて合計を見て委員会の中で検討していければいいかなと思います。

委員：保護者の案なんですけど、そこに児童生徒は一人1回と書いてあるんですけど、たぶん児童生徒はこちらの紙でのことを指していると思うんですけど、「児童生徒は」の文言はなくてもいいんじゃないかと思うんですが。

事務局：それではその文言は削除でよろしいでしょうか。それでは、注意事項の1つ目の丸の所の「児童生徒は一人1回」というところを削除いたします。

委員：気になったのは校章付きデザイン①から③のところ、ピステの方には「SAKURA E.S」と書いてあるんですが、なしバージョンというのはそれを取るということですか。それとももう校章を入れたデザインを別に出して値段も同じでアンケートを取るということですか。それについてはここで決めたらいいんですか。

委員：今あるデザインに校章を入れるかっていうアンケートですよ。

委員：「SAKURA E.S」というのは入っていて、さらに校章を入れるかどうか

ということですよ。

事務局：「SAKURA E.S」は基本として入っている認識です。

委員：わかりました。金額は半袖は校章が入っている値段で出していただいたってことだったんですけど、金額は全部入っている値段で出すってことですよ。

トンボ：長袖も校章が入った状態での値段で出させていただきます。

委員：質問の6番でTシャツに校章をつけるとなったら値段は変わらないけど、長袖には付けないってことになる、下がるのかなって何となく想像するってことですかね。

トンボ：そうですね。

委員：5番のアンケートの前にある写真が校章なしバージョンで、6番目にある写真が校章付きということでそこで全パターンがわかるので6番で聞くということですね。わかりました。

委員：先ほど御質問の意図は校章が入った時、ピステの「SAKURA E.S」は取るのか取らないのかということでよろしいでしょうか。

入る場合は「SAKURA E.S」のデザインに校章も入るって認識でよろしいですよ。

それで今の議論で思ったんですが、デザインの写真がぱっと見、上の設問なのか下の設問のものなのかわかりにくいと思うんですね。

デザイン1、2、3については上の設問が住所のことなのであきらかに違うな
っていうのは分かるんですが、校章付きデザインについては5番のものなのか
6番のものなのかははっきりしないので、上記のデザインという文言ではなく、
下記のデザインという文言にして、その下に写真を載せて、その下に選択肢を
置いた方が誤解を生まないのかなと思いました。

今のお話が出るということは多くの方が誤解を生じる可能性があるのではと感
じましたがいかがでしょうか。

事務局：グーグルフォームのアンケートの形として見やすい形で、誤解のない
ような形で修正いたします。

委員長：よろしいでしょうか。

アンケートについては事務局さんが言ってくださったように修正がかかるとい
うことで。

そうしますと、展示とアンケート期間について、資料1になります。事務局案
では7月8日火曜日から7月18日金曜日、各学校に同時に展示していただく、
それと同時にアンケートも夏休み前の最終日になりますのでこの期間でいいと
思うんですが、保護者さんは足を運ばれる時期としてはいかがでしょうか。

メーカーさんの方もこちらでお願いできればと思いますがよろしいですか。

ではアンケート等についてはこれでいければと思います。

あとはその他についてなんですが、その他の1つ目は保護者組織についてです。
先日、桜学園の保護者組織のミーティングを実施したということをお聞きして
おります。

出席された方がこの中にいらっしゃるということですので、お話をお願いいた
します。

委員：桜学園の各校の保護者の代表が集まりまして会議をしました。

やはり今、どこの学校でも組織をスリムといいますか、組織をできるだけ小さくする、任意の組織として活動するという考えではあります。

特段何かが決まった訳ではないんですけども、今後も情報共有して、何か決定事項があれば桜学園として合わせていきたいと思いますという流れで進めています。

今、ご報告できることはないんですけど、今後決まっていくことについては皆さんに共有していきたいと思います。

さくら小学校でそもそも、保護者組織を作るかどうかということについてはPTAに限らず、保護者組織としてはあった方がいいんじゃないかという意見がありました。

理由としては保護者がなにか学校に申し出をしたり、学校側が保護者に協力をお願いしたい時に窓口になるような組織があった方がいいのではという意見がでました。

あとは保護者組織はここで作るものかと思っていたんですけど、新設校が開校してからでないとできないのでは、学校側でどういう先生がはっきりしてからでないと保護者側だけで作るのは難しいのではないかという意見もでました。

前に事務局にお伺いした際には必ずしも開校準備委員会で決める必要はないと聞いていましたので、誰が来るかはっきりしていない状況だと、アンケートを取るにしても新入生の保護者には取れないので、4月になった段階で保護者組織についての検討委員会みたいなものを作って、学校側も含めて話し合いができる場があった方がいいんじゃないかなと思います。

その前段階として準備委員会でこういうアンケートを取っておこうとか、できることを我々でやっていって、4月になった段階で学校さんと委員会を立ち上げてやっていくのがいいんじゃないかなとミーティングで話していて感じました。

実際、私もいろいろ学校のお手伝いをしているんですが、協力する保護者が少ないんですね。

ただそれは決してやりたくないってことではなくて、PTA という名前に反応してしまうと思うんです。

ボランティアとかお手伝いは積極的にやってくれる方はいても PTA はちょっと、という方が多いと思うので、せっかく新しい学校で新しい組織を作るのであれば持続可能で保護者が参加しやすい、先生方もやりやすいような組織を作っていけたらなと思います。

そのために私たちができる下準備をしてできるだけ早く進めていくのがいいんじゃないかなと思います。

保護者組織についても委員会でも時間があるときに皆さんに相談させていただいて、私たちが事前の準備をして、4月開校後に検討委員会を立ち上げますとか、保護者の皆さんにアンケートを取って、アナウンスをして心構えをしていただくというのが大事なのかなと思っています。

あくまでも子どもたちの組織ですから、子どもたちにとってどういう組織だったらためになるか。

一旦組織を大きく作るとそれを小さくするのは大変みたいなので、小さくなくてもいいけれども、持続可能で、保護者、先生が参加しやすい組織を作りたいと考えていますので、皆さんも各学校でどのように保護者組織が成り立っているのか、現状を確認していただいて、その良い点をあげて、どういうアンケートを取って、どういうふうに意見をまとめるのか皆さんにも考えていただいて、今後話し合いの場を設けさせていただければなと思っています。

以上です。ありがとうございました。

委員長：ありがとうございました。

引き続きよろしくお願いいたします。

続きまして通学路について事務局から説明をお願いいたします。

事務局：事務局です。

新設校の通学路についてどのように進めていくのかですが、通例では、各家庭で、想定する通学路についてお子様と歩いていただいて、危険箇所等を挙げていただく。保護者組織、または学校を通じてまとめてものを学務課で集約して、市の担当課や警察、土浦土木事務所と連携して対応していくという流れです。

ただ、今回、東京海上日動火災保険株式会社様から通学路点検についての御提案がありました。御提案内容は小学校の通学路における危険箇所の報告作業をデジタル化し、作業の効率化の効果とシステムの使用感の調査を行う実証実験を検討しているということで、今回のさくら小学校の新設に係る通学路点検で使用してみませんか、というものです。

参考資料1にあるようなフローで報告を集約しますので、保護者組織や学校を経由する必要がございません。

もし、この提案を採用して通学路点検を実施する場合、スケジュールとしては6月末、7月頭頃を目途にスクリレで保護者に案内を送付してシステムを利用して各家庭で点検をしていただく想定です。通学路点検の方法として、こちらの御提案を採用するか、従来通りに実施するか、この場でお伺いしてもよろしいでしょうか。

事務局：こちらにつきましては携帯電話を使用することになるんですけど、機器の貸し出しは対応できませんので個人の携帯電話を使用していただくことになります。

それと通話料についてもシステムを使用しての料金なのかが判別できないこともあり、各自でご負担いただくことになります。

委員長：今の説明で何かありますか。

委員：まず、通学路は学校や市の指定はないということでよろしいですか。あくまで地区単位、個人単位で決めていくということでお間違えないですか。

事務局：基本的にはその考えで相違ございません。

もちろんそういった中で、学校としてここは危険なので通らないでくださいという通知があって、ではこっちにしようというやりとりはあるかもしれませんが、ここを通りますというところを保護者さんたちがお子さんの状況、安全を考えて決めていただくとなっております。

委員：今はまださくら小学校ができていないので、学校と話し合いはできないので、自分が考えている、地区として考えている通学路に対しての危険箇所という認識でよろしいですか。

事務局：今の登校班の行き先がさくら小学校になるという想定で、子ども目線で危険な箇所というのをあげていただければと考えております。

委員：そうしたら、学校からなのか、市からなのかわからないけど、保護者向けにそういう前提ですっていうのを伝えていただきたいんですね。

そうしないと動くのが難しくて、もしさっき説明していただいたQRコードを使うとしても地区単位で使う可能性があるっていうことですので、そうすると学校から地区の取りまとめの方にこういうのをお願いしますという依頼をするようになると思うので、結局その段階では通学路については決まっていないというか、地区で決めていくか、登校班がない場合は個人で決めてくださいという案内をしていただきたいと思います。

実際、私も去年は地区委員でしたけど、地区委員としては通学路ってどうなっているのって、これだけ渡されても、そもそも通学路ってって思ってしまうの

で、その部分も伝えながらアンケートをとればいいんじゃないかなって思います。こういうシステムなのか紙がいいのかっていうのは、地区委員さんの御意見も聞いたほうが良いのかなと思うんですね。

事務局：事務局です。

特別、誰かが全部取りまとめてやってくださいというのはないんですが、ある程度は登校班で一緒に通うのであれば、できるだけまとまってやっていただいたほうが、同じ報告が避けられるのかなと考えております。

委員：事務局はこのシステムを通学路を決めるためのものとして想定しているんですか。

事務局：通学路を決めるというものではないと思っております。

通学路として想定される危険な箇所について対応するためという想定です。

委員：わかりました。

そうすると先ほどの委員さんの御意見の通りで、いきなりこれを出しても混乱するだけなんじゃないかなと思います。

これはある程度通学路が確定してからやるべきことなのかな、新設校が出来てからやればいいのかないかなというところで、もう一つ今のお話を聞いていて、やはり通学路を設定するためのフローというのを事務局から出していただくことができないのかなと思います。

この学校ではこう決めていましたという前例があるわけですから、準備委員会としてこういうふうに決めませんか、というのを出していただいて、たたき台にして通学路について話していく。

準備委員会で決めるものではなくて、準備委員会にこういう流れで既存の地区

委員さんを活用しながら決めていきたいと思いますように進めていかないと、今お話を聞いていると誰が地区委員さんにお願いするのかとか、個人個人にお願いするのかというのが非常にあやふだなと思ったので、前例を出していただきながら、それをたたき台として話し合えるように、準備委員会で通学路を設定するまでのさくら小学校としての決め方をこの場で議論できたらと考えます。

いかがでしょうか。

委員：栄小学校は地区委員さんがおりません。

あと栄小学校の子どもがさくら小学校に通うとするとだいたいは裏側から上がっていくんですが、そもそもどこが入り口として設定されているのかなとか、そこがはっきりわからないと、どういうふうに通わせるのかっていうのが保護者が判断できないから、その辺の周辺の図面だとかを示して、通れる道なのかわかった上であれば調査とか確認ができるのかなと思いました。

以上です。

委員：通学路を決めるっていうことになって、ここにガードレールが欲しいとか横断歩道が欲しいってなった時にそれは認められるものなんですか。

事務局：私たちとしても担当の部署に学校ができますので対応をお願いしますということで依頼をする中で、対応できるところ、できないところというのがあります。

あと依頼はして対応はするけども開校までには間に合わないという回答がある場合もございます。ここが危ないので対応してくださいということに対してできる範囲で対応していただくということになります。

委員：わかりました。ありがとうございます。

対応ができると仮定した場合、要望を伝えて実現するまで時間がかかると思うんですけど、だいたいどれくらいまでに決まっていなくて開校までに対応ができないとかはわかりますか。

委員：春風台でも要望を出してすごく時間がかかる場所もあったので、すぐには対応できないと思います。

委員：ありがとうございます。じゃあとりあえず要望をだしておけばって感じですかね。

委員：今、我々が話し合うのってこのシステムを使うかどうかですよ。最初にいただいた御質問って。

事務局：当初としてはその形で考えていたんですけども、そもそも通学路とはいうところが伝わらなければ進めるのが難しいというところで、そこについては、こちらとしましても通学路をこう決めますというところは、特段決まったものがない状況で、保護者さんがここを通ります、学校がそれを受けてという流れをイメージしている中で、新設校の、今回は3学校がそれぞれという中では事務局としては決めづらいというところがあるんですが、先ほど御意見がありましたとおり、そもそもどこから入ればいいのかなどの情報については提示しなければ、保護者の皆様も想定的前提がわからなくて、システムを使うにしても使わないにしても検討が難しいのかなと思ってはいます。

委員：ありがとうございます。

今の話を受けて2つありまして、このフローを見るとある程度通学路が決まっ

たら使うものなのかなと思いました。

もしこう使えたらいいなと思ったのが危険箇所をみんなで報告して、そこを通らないベストな通学路選定に活かしますというのだったら、すごく早期に使う意義があるのかなと思ったんですが、その一方で通学路に使うわけではないとおっしゃっていたので、通学路が選定されてからじゃないと意味ないのかなと思ったので、今のところこれが有用なのかどうかわからないのかなと思いました。

あとはこれ、写真付きで学校に報告ができますとあるんですけど、そうするとみんなが一斉に使うと学校に大量に報告が届くのかなと思うと取りまとめが大変じゃないのかなと思ったので、この辺も含めてこれが良いものなのか判断ができないのかなと個人的に思ったところです。

なので通学路の決まり方がわからないと意見が出しにくいのかなと思います。

事務局：1点だけ。

ここには学校に報告とありますが、今回は開校前なので事務局が学校にあたるというか、保護者さんがあげていただいた報告は学務課がまとめるイメージではあります。

委員：4月から登校班で行きたいので、登校班の決定は今年度中にしたいと思っていますが、登校班は地区で決めてしまっているのでしょうか。

決めていいよってなければこのシステムを使うのは難しいのかなって思っていて、その辺をまず決めていただきたいなと思います。

委員長：ある程度委員会で方向性を決めて、その後は地区委員さんがいればそこで決めていただいて、いらっしゃらない学校はお近くの方たちで集まっていたいてということになるかなと思うんですけど。

委員：我々だけでもこれだけたくさんの疑問があるわけですから、通学路選定に向けて、疑問点や提案を事務局で、まずは我々の中でまとめていただけませんか。

これを広く募集してしまうと收拾がつかないと思いますので。その上で前例を事務局に出していただいて、それをたたき台にしてこういうふうにして決めていこうというフローを作っていくませんか。

事務局：保護者組織の話もそうなんですけど、なにを決めていくのかを委員会でゼロからというのは難しいと思います。

我々の方でも現状がどうなっているのか把握が難しいところがありますので、学校と相談しながら進んでいければと思うんですがいかがでしょうか。

委員長：今日のこの議事では、事務局さんとしてはこの方法を採用するか否かというところだったと思うんですけど、今日はそこまでいけないということなので、必要なこととしてはどちらに行くかどうかっているのをある程度決まった段階まで延ばさないということと、できれば先ほどの入り口について、例えばここに通用門を設けますというところまで細かい情報があれば学校としてもこういうふうになるのでと伝えられますので、そうしたら夏休みにお子さんと一緒に歩いていただいて、ある程度ご自分のお子さんがどこを通っていくのかというのを見通しを持っていただけたと思います。

この議論をすればもうちょっと進むのかなと思ったんですけど。

事務局：入り口等、必要な情報を示さないに進めていくのが難しいと分かりましたので、進めてまいります。

今回いただいた御意見を基にどうやって進めていくか、再度お示しするかたち

にしたいと考えております。

委員長：では本日の議事は以上になりますので、事務局にお返しいたします。

事務局：委員長、議事の進行ありがとうございました。

体操服については7月に進めていきます。

次回の委員会については8月上旬に予定しております。

通学路についてもある程度そこでお示しできるなと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは第9回開校準備委員会を終了いたします。ありがとうございました。

閉会